



Color & Comfort by Chemistry



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 DIC株式会社

コード番号 4631 URL <http://www.dic-global.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 杉江 和男

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 二宮 啓之

TEL 03-3272-4511

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	191,504	△2.7	10,344	1.3	8,922	△3.7	8,497	41.0
23年3月期第1四半期	196,806	15.0	10,214	384.8	9,262	—	6,028	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 15,418百万円 (113.7%) 23年3月期第1四半期 7,215百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	9.26	—
23年3月期第1四半期	7.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	741,422	143,398	16.3
23年3月期	703,760	130,379	15.3

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 120,718百万円 23年3月期 107,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	380,000	△3.3	20,000	△3.9	16,000	△15.5	12,000	△1.9	13.08
通期	760,000	△2.4	43,000	15.7	35,000	10.4	18,000	14.2	19.62

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、4ページ「3. その他の情報」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	919,372,048 株	23年3月期	919,372,048 株
24年3月期1Q	1,866,034 株	23年3月期	1,862,844 株
24年3月期1Q	917,507,973 株	23年3月期1Q	829,826,118 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績	1
(1) 当第1四半期の業績全般の概況	1
(2) 当第1四半期のセグメント別業績	1
(3) 当第2四半期連結累計期間及び通期の業績全般の見通し	3
2. 財政状態	4
3. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 経営成績

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、国内会社は3月であるため、当第1四半期の状況に関しては、海外子会社は平成23年1～3月、国内会社は平成23年4月～6月について各々記載しています。

(1) 当第1四半期の業績全般の概況

当第1四半期の当社グループを取り巻く事業環境は、国内において東日本大震災による影響があったものの、国内外ともほぼ前年同期並みに推移しました。

このような事業環境の中、当第1四半期の売上高は、国内外の印刷インキなどが減少したものの、TF T液晶の増大などにより、為替影響排除後では前年同期比1.8%の増収となりましたが、円高の影響により、1,915億円と同2.7%の減収となりました。

営業利益は、品目構成の改善などにより、103億円と前年同期比1.3%の増益となりました。

経常利益は、為替差損の影響などにより、89億円と前年同期比3.7%の減益となりました。

四半期純利益は、関係会社株式の売却益などにより、85億円と前年同期比41.0%の増益となりました。

	前第1四半期 実績	当第1四半期 実績	前年同期比	
				為替影響排除後
売上高	1,968億円	1,915億円	△2.7%	+1.8%
営業利益	102	103	+1.3%	+5.1%
経常利益	93	89	△3.7%	--
四半期純利益	60	85	+41.0%	--

(注) 当第1四半期の決算にあたり、海外関係会社の現地通貨建て業績を円貨に換算するための主な為替レート(期中平均：平成23年1月～3月)は、82.12円/米ドル(前年同期：91.09円/米ドル)を適用しています。

(2) 当第1四半期のセグメント別業績

(単位：億円)

事業部門	売上高				営業利益			
	前第1 四半期 実績	当第1 四半期 実績	前年同期比		前第1 四半期 実績	当第1 四半期 実績	前年同期比	
				為替影響 排除後				為替影響 排除後
印刷インキ	1,023	933	△8.8%	△2.4%	36	26	△26.2%	△18.6%
ニューグラフィック アーツ	265	292	+9.8%	+17.9%	8	35	4.4倍	4.3倍
合成樹脂	391	396	+1.1%	+2.2%	38	34	△11.2%	△10.9%
ケミカル ソリューション	385	400	+3.9%	+4.5%	22	17	△22.2%	△21.9%
その他	17	2	△86.9%	△78.0%	9	1	△85.4%	△85.0%
消去又は全社	△114	△107	----	----	△10	△10	----	----
計	1,968	1,915	△2.7%	+1.8%	102	103	+1.3%	+5.1%

各事業部門の業績は次のとおりです。前年同期比の（ ）内の数値は、為替換算の影響を排除した増減比を表しています。なお、印刷インキ事業部門の業績には事業部門内の地域間取引が含まれており、合計金額は上記の業績数値と一致しません。

[印刷インキ事業部門]

・日本 売上高：234億円 前年同期比 △5.2%
営業利益： 7億円 前年同期比 △6.3%

グラビアインキは、震災により、飲料・食品向け軟包装材関連に特需が発生した一方で、一部原材料の調達難で生産に影響が出たことから、前年同期並みとなりました。オフセットインキと新聞インキは、従前からの需要の減少傾向に加え、震災による用紙不足や一部原材料の調達難で生産に影響が出たことから、減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況や原材料価格の高騰などにより減益となりました。

・米州・欧州 売上高：579億円 前年同期比 △12.4% (△ 3.4%)
営業利益： 9億円 前年同期比 △53.7% (△44.3%)

北米、欧州では、雑誌や新聞の発行部数減少の影響などにより、出版インキと新聞インキが減収となりましたが、パッケージ用インキは欧州を中心に比較的堅調に推移しました。中南米においては、チラシ・カタログ関連が減収となりましたが、主力のパッケージ用インキが堅調で、増収となりました。以上の結果、全体としては北米の出版関連の落ち込みが響き、減収となりました。

営業利益は、合理化によるコスト削減効果はあったものの、上記の売上状況や原材料価格の高騰などにより減益となりました。

・アジア・オセアニア 売上高：143億円 前年同期比 + 6.1% (+11.2%)
営業利益： 11億円 前年同期比 +12.0% (+15.4%)

中国では新聞インキやオフセットインキが、また東南アジアではグラビアインキが各々堅調に推移し、増収となりました。オセアニアでは、オフセットインキとグラビアインキが堅調で、増収となりました。また、インドでは全品目で増収となりました。

営業利益は、上記の増収効果などにより増益となりました。

[ニューグラフィックアーツ事業部門]

売上高：292億円 前年同期比 +9.8% (+17.9%)
営業利益： 35億円 前年同期比 4.4倍 (4.3倍)

有機顔料は、国内ではカラーフィルター用が、また海外では塗料・プラスチック用が各々好調でしたが、国内外ともにインキ用が苦戦したため、減収となりました。また、光ディスク保護コート剤も、需要の縮小により減収となりましたが、液晶テレビの大手ユーザー向けに出荷が急拡大したT F T液晶が大幅な増収となったことから、全体では増収となりました。

営業利益は、T F T液晶の増収効果や品目構成の改善などにより増益となりました。

[合成樹脂事業部門]

売上高： 396億円 前年同期比 +1.1% (+2.2%)
 営業利益： 34億円 前年同期比 △11.2% (△10.9%)

国内では、震災の影響を受けた自動車関連需要の減速や、電気・電子分野の在庫調整により、塗料用樹脂や改質剤が苦戦したことから、減収となりました。しかしながら、アジアにおいては、需要の拡大により中国、東南アジアとも好調に推移しました。以上の結果、全体としては増収となりました。

営業利益は、品目構成の悪化や原材料価格の高騰などにより減益となりました。

[ケミカルソリューション事業部門]

売上高： 400億円 前年同期比 +3.9% (+4.5%)
 営業利益： 17億円 前年同期比 △22.2% (△21.9%)

PPSコンパウンドが震災による生産停止や自動車関連需要の減少により減収となりましたが、主に震災に伴う特需により、軽量容器向けポリスチレンや食品パッケージ向け多層フィルムなどが伸長し、全体としては増収となりました。

営業利益は、品目構成の悪化や原材料価格の高騰などにより減益となりました。

(3) 当第2四半期連結累計期間及び通期の業績全般の見通し

平成23年5月11日に公表した業績見通しを以下の通り修正致します。

(単位：億円)

	前第2四半期 連結累計期間 実績	当第2四半期 連結累計期間 見通し	前年同期比	前期 実績	通期 見通し	前期比
売上高	3,931	3,800 (3,700)	△3.3%	7,790	7,600 (7,600)	△2.4%
営業利益	208	200 (190)	△3.9%	372	430 (430)	+15.7%
経常利益	189	160 (150)	△15.5%	317	350 (350)	+10.4%
当期純利益	122	120 (90)	△1.9%	158	180 (180)	+14.2%

() 内の数値は平成23年5月11日公表値

(業績見通しの修正理由)

当第2四半期連結累計期間については、前回見通しに比べ、国内を中心に需要が堅調に推移することが見込まれるうえ、固定資産処分損などの特別損失も減少する見込みであることなどから、上記のとおり業績予想を修正致します。

なお、通期については、年度後半の景気動向など不透明要因が多いことから、前回の見通しを据え置きます。

業績の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれていません。業績に影響を与え得る重要な要素としては、国内外の経済情勢、市場の動向、原料価格や金利、為替レートの変動などのほか、紛争・訴訟、災害・事故などのリスクがあり、また、事業再構築に伴う一時損失が発生する可能性があります。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

2. 財政状態

(資産、負債及び純資産の状況に関する分析)

当第1四半期末の資産の部は前期末と比べて377億円増加し、7,414億円となりました。債権流動化の減少に伴い売上債権が増加したほか、為替レート変動の影響でも資産が増加したためです。負債の部は、有利子負債の増加及び為替レート変動の影響などにより、前期末比246億円増の5,980億円となりました。また、純資産の部は、為替レート変動の影響等により前期末比130億円増の1,434億円となりました。

3. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示の概要

該当事項はありません。

(追加情報)

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (23. 3. 31)	当第1四半期連結会計期間 (23. 6. 30)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,957	18,183
受取手形及び売掛金	185,391	216,030
商品及び製品	66,305	75,527
仕掛品	8,708	9,232
原材料及び貯蔵品	47,238	48,795
その他	32,495	34,651
貸倒引当金	△8,296	△8,121
流動資産合計	354,798	394,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	87,466	85,655
機械装置及び運搬具（純額）	65,540	63,378
工具、器具及び備品（純額）	7,744	7,419
土地	54,728	53,846
建設仮勘定	5,153	6,546
有形固定資産合計	220,631	216,844
無形固定資産		
のれん	1,808	1,777
その他	10,509	10,077
無形固定資産合計	12,317	11,854
投資その他の資産		
投資有価証券	30,873	31,217
その他	85,640	87,740
貸倒引当金	△499	△530
投資その他の資産合計	116,014	118,427
固定資産合計	348,962	347,125
資産合計	703,760	741,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (23. 3. 31)	当第 1 四半期連結会計期間 (23. 6. 30)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121, 224	125, 888
短期借入金	66, 457	76, 671
コマーシャル・ペーパー	—	14, 000
1年内償還予定の社債	5, 000	10, 000
未払法人税等	3, 539	4, 277
賞与引当金	2, 815	3, 383
災害損失引当金	2, 250	2, 250
その他	63, 094	56, 823
流動負債合計	264, 379	293, 292
固定負債		
社債	36, 000	31, 000
長期借入金	222, 962	223, 777
退職給付引当金	22, 135	22, 752
資産除去債務	1, 019	990
その他	26, 886	26, 213
固定負債合計	309, 002	304, 732
負債合計	573, 381	598, 024
純資産の部		
株主資本		
資本金	91, 154	91, 154
資本剰余金	88, 758	88, 758
利益剰余金	39, 475	46, 137
自己株式	△657	△657
株主資本合計	218, 730	225, 392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△73	△122
繰延ヘッジ損益	△293	△210
年金負債調整額	△18, 117	△18, 884
為替換算調整勘定	△92, 499	△85, 458
その他の包括利益累計額合計	△110, 982	△104, 674
少数株主持分	22, 631	22, 680
純資産合計	130, 379	143, 398
負債純資産合計	703, 760	741, 422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (22. 4. 1~22. 6. 30)	当第1四半期連結累計期間 (23. 4. 1~23. 6. 30)
売上高	196,806	191,504
売上原価	154,779	152,553
売上総利益	42,027	38,951
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	9,939	9,473
貸倒引当金繰入額	437	150
賞与引当金繰入額	947	1,191
退職給付費用	1,246	920
その他	19,244	16,873
販売費及び一般管理費合計	31,813	28,607
営業利益	10,214	10,344
営業外収益		
受取利息	191	566
受取配当金	44	37
為替差益	273	—
持分法による投資利益	340	635
その他	641	778
営業外収益合計	1,489	2,016
営業外費用		
支払利息	1,750	1,823
為替差損	—	897
その他	691	718
営業外費用合計	2,441	3,438
経常利益	9,262	8,922
特別利益		
関係会社株式売却益	—	2,984
固定資産売却益	—	237
特別利益合計	—	3,221
特別損失		
リストラ関連退職損失	204	221
固定資産処分損	733	155
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	692	—
特別損失合計	1,629	376
税金等調整前四半期純利益	7,633	11,767
法人税等	1,126	2,832
少数株主損益調整前四半期純利益	6,507	8,935
少数株主利益	479	438
四半期純利益	6,028	8,497

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (22. 4. 1～22. 6. 30)	当第1四半期連結累計期間 (23. 4. 1～23. 6. 30)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,507	8,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△482	△45
繰延ヘッジ損益	△168	82
年金負債調整額	701	△767
為替換算調整勘定	361	6,824
持分法適用会社に対する持分相当額	296	389
その他の包括利益合計	708	6,483
四半期包括利益	7,215	15,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,915	14,805
少数株主に係る四半期包括利益	300	613

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷 インキ	ニューグラ フィック アーツ	合成樹脂	ケミカルソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	102,307	17,727	36,746	38,317	195,097	1,709	196,806
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	8,821	2,380	174	11,386	—	11,386
計	102,318	26,548	39,126	38,491	206,483	1,709	208,192
セグメント利益	3,578	795	3,819	2,161	10,353	857	11,210

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,353
「その他」の区分の利益	857
全社費用（注）	△996
四半期連結損益計算書の営業利益	10,214

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷 インキ	ニューグラ フィック アーツ	合成樹脂	ケミカルソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	93,201	21,120	36,996	39,963	191,280	224	191,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	90	8,040	2,562	13	10,705	—	10,705
計	93,291	29,160	39,558	39,976	201,985	224	202,209
セグメント利益	2,640	3,478	3,391	1,682	11,191	125	11,316

4. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,191
「その他」の区分の利益	125
全社費用(注)	△972
四半期連結損益計算書の営業利益	10,344

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。